

令和3年度予算概要

1. 令和3年度の予算編成方針

令和2年度はまん延した新型コロナウイルス対策のため、2度の緊急事態宣言が発出され、国民生活はこれまで経験したことのない制約を受けることとなった。日本山岳会における諸活動は、いわゆる「自粛要請」に従い中止や延期あるいは規模縮小といった対応を取らざるを得ず、令和2年度における事業遂行は当初の想定をはるかに下回る結果となっている。また、収支の悪化はここ数年継続し改善の努力が続けられているが、会員の高齢化による退会者の増加等の要因が収益改善の妨げとなっている。

このような状況を踏まえ令和3年度予算は「登山活動の維持」と「入会者の拡大」を方針とし、事業計画が円滑に推進できる体制を確立すべく策定した。

収益は会員数の増加策を従来にも増して実施することで会費収入を増加させることとした。寄附金については、昨今の経済情勢が特に悪化していることから微減と想定している。しかし、本会への寄附は社会貢献度が高いことをアピールし、税額控除団体としてのメリットを訴求することで、120周年記念事業だけにとどまらない広範な寄附・募金活動を継続して展開する必要がある。

一方、費用については、令和3年度中の事業活動がコロナ禍による制約が生じる可能性もあるが、速やかな再開を目指して通常運転としての予算計上を心掛けた。また、支部予算については、令和2年度予算の未消化分の繰越利用も認めており、支部事業の早急な復活・活性化を支援する。120周年記念事業は令和2年度の持ち越し分を併せて実現できるよう手当した。

その結果、令和3年度予算は経常収益107,026千円、経常費用105,935千円、当期経常増減額及び当期一般正味財産増減額は1,091千円と若干の黒字となる見込みである。

2. 経常収益

会費収入55,200千円、入会金収入2,000千円はここ数年継続している会員数減少傾向の歯止めをかけるべく、100名純増を目標とする施策を検討する。受取寄附金等は経済情勢の悪化を反映し、およそ4百万円減の23,624千円とした。令和3年度は120周年記念事業開始2年目であり必要な資金は前年にも増して増えているので組織的な宣伝活動を展開し寄付金の獲得に努めなければならない。そのために改革事業推進委員会は「入会者増加」と「寄附増加」を確実に実現するための施策を今年度中に策定し、実施に移さなければならない。このほか、事業収益を11,030千円、参加者負担金等の雑収益を11,735千円見込んでいる。これらにより経常収益は前年度より4,511千円減少の107,026千円となる。

3. 経常費用

(1) 事業費

主な事業費として、出版事業費（「山岳」及び「山」）は横這いの12,260千円、支部事業費は微減の18,372千円としている。支部事業は地域によって制約の程度が異なるが、当年度中の早急な復活を期待している。山岳研究事業費は、当年度の上高地山岳研究所の施設利用が三密回避から制限されるため利用見込みを低く抑えているが、費用は固定費が主となり、前年度の修繕費等の支出を無くし7,698千円としている。120周年記念事業は令和2年度に予定していた事業の大半が次年度以降へ延期となり、下記の5プロジェクトの実施を決定した（本部助成額4,500千円）。

このほか、その他事業費には晩餐会費用と新設した年3回の支部連絡会議費用を見込み13,380千円を計上した。この結果、事業費は昨年度より4,614千円減少し101,535千円となる。

(単位:千円)

	エベレスト登頂50周年記念フォーラム	ヒマラヤキャンプ	日本山岳会所蔵資料デジタル化	グレート・ヒマラヤ・トラバース	日本・エクアドル合同登山	合計
(経常収益)						
寄附金・助成金		2,000		1,000		3,000
参加者負担金等		1,000		3,000	2,300	6,300
計	0	3,000	0	4,000	2,300	9,300
(経常費用)						
活動費用	450	4,000	550	5,000	3,800	13,800
本部助成額	△ 450	△ 1,000	△ 550	△ 1,000	△ 1,500	△ 4,500

(2) 事業管理費と管理費

事業管理費として19,325千円、管理費として4,400千円を見込んでいる。事業費の一部である事業管理費は3つの公益事業と共益事業に配分した職員の給与手当と福利厚生費、支払手数料等である。管理費は主に本部事務所の管理に係る費用である。いずれも経費の節減に努め費用の圧縮を図ることとする。

事業費と管理費を合わせた経常費用は前年度に比べ4,814千円減少の105,935千円となる。

以上の結果、経常損益(当期経常増減額)及び当期一般正味財産増減額は1,091千円と僅かながら黒字となる見込みである。

4. 資金調達及び設備投資の見込み

令和3年度における資金調達及び多額の設備投資の見込みはない。

以上

令和3年度収支予算書（対前年比較）

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

（単位：千円）

科 目	令和3年度 予算	令和2年度 予算	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2	5	△ 3
特定資産運用益	7	10	△ 3
受取入会金	2,000	4,000	△ 2,000
受取会費収入	55,200	54,000	1,200
受取準会員入会金	400	500	△ 100
受取準会員会費	1,800	1,500	300
事業収益	11,030	12,780	△ 1,750
受取補助金等	1,228	800	428
受取寄附金等	23,624	27,620	△ 3,996
雑収益	11,735	10,322	1,413
経常収益計	107,026	111,537	△ 4,511
(2) 経常費用			0
事業費	101,535	106,149	△ 4,614
出版事業費	12,260	12,160	100
図書管理事業費	5,900	6,170	△ 270
調査研究事業費	2,400	1,870	530
指導研究事業費	610	460	150
山岳環境保全事業費	570	670	△ 100
支部事業費	18,372	19,108	△ 736
高尾の森づくり事業費	3,860	5,270	△ 1,410
ユースクラブ事業費	2,100	2,000	100
海外事業費	200	150	50
海外登山助成金	500	500	0
JAC登山隊助成金	0	600	△ 600
山岳研究事業費	7,698	8,979	△ 1,281
ミニ水力発電事業費	190	200	△ 10
家族登山普及事業費	370	325	45
120周年記念事業費	13,800	15,795	△ 1,995
その他事業費	13,380	11,277	2,103
事業管理費	19,325	20,615	△ 1,290
管理費	4,400	4,600	△ 200
経常費用計	105,935	110,749	△ 4,814
当期経常増減額	1,091	788	303
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,091	788	303

令和3年度収支予算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：千円)

科目	公益事業会計					共益事業	法人会計	合計
	登山振興	調査研究	環境保全	共通事業	小計			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益							2	2
特定資産運用益							7	7
受取入会金				1,000	1,000	400	600	2,000
受取会費				27,600	27,600	11,040	16,560	55,200
受取準会員入会金				200	200	80	120	400
受取準会員会費				900	900	360	540	1,800
事業収益	420	900		700	2,020	9,000	10	11,030
受取補助金等	400	78	600		1,078	150		1,228
受取寄付金等	9,339	139	3,070		12,548	11,076		23,624
雑収益	3,287		1,105		4,392	5,838	1,505	11,735
経常収益計	13,446	1,117	4,775	30,400	49,738	37,944	19,344	107,026
(2) 経常費用								
事業費	25,267	15,401	7,179	6,700	54,547	46,988	0	101,535
出版事業費	3,530				3,530	8,730		12,260
図書管理事業費		5,900			5,900			5,900
調査研究事業費	1,420	980			2,400			2,400
指導研究事業費	610				610			610
山岳環境保全事業費			570		570			570
支部事業費	8,887	391	1,719		10,997	7,375		18,372
高尾の森づくり事業費			3,860		3,860			3,860
ユースクラブ事業費	2,100				2,100			2,100
海外事業費	200				200			200
海外登山助成金	500				500			500
山岳研究事業費		7,698			7,698			7,698
ミニ水力発電事業費		190			190			190
家族登山普及事業費	370				370			370
120周年記念事業費	4,450				4,450	9,350		13,800
その他事業費						13,380		13,380
事業管理費	3,200	242	1,030	6,700	11,172	8,153		19,325
管理費							4,400	4,400
経常費用計	25,267	15,401	7,179	6,700	54,547	46,988	4,400	105,935
評価損益等調整前増減額	△ 11,821	△ 14,284	△ 2,404	23,700	△ 4,809	△ 9,044	14,944	1,091
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 11,821	△ 14,284	△ 2,404	23,700	△ 4,809	△ 9,044	14,944	1,091
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 11,821	△ 14,284	△ 2,404	23,700	△ 4,809	△ 9,044	14,944	1,091
一般正味財産期首残高								234,752
一般正味財産期末残高								235,843
II 指定正味財産増減の部								
当期一般正味財産増減額								△ 2,536
一般正味財産期首残高								37,527
一般正味財産期末残高								34,991
III 正味財産期末残高								270,834